

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	くものいえ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの特性に合わせた、オーダーメイドの支援プログラムを作成しております。	個別アセスメントに基づき支援計画を作成し、段階的・柔軟なプログラム設定を行い集団・家庭・園との連携を意識し視覚支援・環境調整の工夫をしております。	アセスメント方法の高度化や支援プログラムの体系化・見えるかを図り、職員間で情報尾を共有し、再現性と一貫性を確保してまいります。
2	個別療育や集団療育に特化した室内及び生活環境になっております。	活動に応じた空間の区分を行い、活動スペースを明確に分けて切り替えやすい配置にすることで集中力や参加意欲を促しております。また、成長や発達に合わせた環境調整を行うことで安全性と快適性の確保をしております。	環境改善の定期的な見直しを図り、活動効果や安全性を高める改善サイクルを構築してまいります。また、成長段階に応じた教材や遊具の充実を図ります。
3	モニタールームを設置し、お子さまの支援の様子をご覧いただけるとともに、フィードバックの時間に振り返りを行い、保護者の皆さまへ共有をさせていただいております。	リアルタイムでの観察と支援を確認・子ども一人一人の反応や行動を客観的に把握し、フィードバックの即時性により成功体験や課題を具体的に伝え次回の支援に生かしております。	フィードバックの質の向上のために職員の学習や研修を活用したり、観察環境の改善をしております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在の支援体制を維持しながら、より安定した職員配置や業務の工夫について、継続的に検討していく必要があります。	情報発信のタイミングや手段を限定し、適時適切に伝える手段で、くものいえの様子を発信していくようにしております。	発信のルールや仕組みを整理することにより情報が途切れないようにしてまいります。
2	様々な分野において知識と経験が必要なため、職員のさらなるスキルアップの必要性を感じております。	共有方法やタイミングを統一し職員間での安全管理の意識や理解が必要としております。	共有方法の統一を図り、マニュアルチェックリスト・掲示板などを明確化し職員間の認識を統一してまいります。
3	父母の会の活動の支援や、保護者同士の交流及び地域交流の機会を設けることの難しさを感じております。	参加率の偏りから交流の一体感が得にくく交流の内容や目的の不明確さを検討してまいります。	参加しやすい環境作りを設定し、具体的な目的やテーマを設定してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	くものいえ		公表日		2026年 1月 26日		回収数		25		
		利用児童数		27		2025年 11月 30日					
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	5			個人療育をする個室も運動や集団療育をする大部屋も十分な広さだと思う。集団だと運動スペースが狭いように感じる。運動ができるスペースがあるのでいいと思います。もう少し全体的に広いといいと思います。	・お子さまの特性に配慮しながら、個室では落ち着いて課題に取り組める環境を設置し、運動スペースでは粗大運動を行えるよう、法令に遵守したスペースを確保しております。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2			十分な人数だと思う	・定められた人数を配置しております。 ・職員配置等については、今後も可能な限り努めて参ります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2		1	どこに何があるのわかりやすく工夫されていると思う。待合室のWi-Fi環境が悪いので度々中断してしまう。	・モニターを安定して見られるよう環境と整えていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24		1		いつも綺麗で子どもにとって居心地の良い空間だと思う。個室と体を使って遊ぶスペースが別になっているので切り替えができて良い。	・毎日の清掃、消毒、換気や空気清浄機を活用する等、環境衛生に気を付けております。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				子どもの様子や変化に応じて柔軟に支援内容を調整してくれて安心する。子供に応じた遊びをしている。子どもの特性を理解してくださり、子どもに合った支援をしてくださっているの助かっています。	・職員は、日々お子さまの特性について勉強を重ね、お子さまに合わせた支援の課題を作成しております。また、行った支援内容を詳しくお伝えできるよう努めて参ります。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25				相違する箇所は見当たらない。個別プログラムしか利用していないが合っていると思う。	・公表している支援プログラムに沿って支援を提供しております。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25				支援計画を作成するにあたりしっかりと面談をしてくれるのでニーズに合った計画が作成されていると思った。良く考えてくれた上で作成されている。	・お子さまの特性を理解し、アセスメントを行ないご意向を十分にお聞かせいただいたうえで個別支援計画書を作成しております。また、職員は個別支援計画書をもとに目標に沿った支援プログラムを作成してお			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1			支援計画がしっかり立てられていて家庭のサポートも充実していると思う。設定されている。	・今後も、支援内容がより実際の支援に繋がるよう、職員間で共有を行ない、質の高い個別支援計画の作成に継続して取り組んでまいります。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1			支援計画に沿った支援かつ子どもに寄り添った支援をして下さり成長を感じる。行われていると思う。	・当事業所では、計画書に基づいた支援を確実に実施するため、支援内容の共有や振り返りを定期的に行い、計画と日々の支援の一貫性を大切にしております。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25				子どもが楽しめるようなプログラムを次々考えてくださり、見てこちらもうれしい。違うアプローチで支援して下さっている。色々な支援をしてくださっていると思います。毎回、子供に合った活動内容で良いと思います。	・活動内容が固定的に見える場面がないよう、お子さま一人ひとりの興味・課題に合わせて活動内容や支援方法の調整を丁寧に行ない、より柔軟なプログラム構成を目指します。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	2	9	今のところそのような活動は必要ないと思う。聞き取りを丁寧にしてニーズを取り入れてくださっていると思う。特にそういった案内はされていないので機会があるなら参加したい。	・地域交流については、限られた支援時間の中で実施が難しいことから、現段階で利用者さま全員に画一的に実施することはしていません。			
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				特にわからないことがないくらい説明して下さった。丁寧な説明があったので安心してこの事業所に決めた。詳しく説明していただけて良かったです。	・運営規程、利用者負担額について、契約時に重要事項説明書とともに丁寧に説明できるよう努めております。提供する支援プログラムについては、支援終了後に保護者の皆様へフィードバックの時間を設けております。				
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25				丁寧に説明してくださるのでありがたい。支援目標と内容について具体的に説明して下さった。支援計画書を見ながら丁寧に説明してくださるのでわかりやすいです。	・個別支援計画書を保護者さまと一緒に確認しながら、支援内容を説明させていただいております。				

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	1		1	以前に行われたペアレントトレーニングに参加し、とても勉強になった。今まで1回だけ案内があったので参加したがもう少し機会が増えると良い。	・家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の提供を検討しております。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1			支援の様子も詳しく教えて下さるし、こちらから家庭の様子も伝え易い環境でありたい。毎回どういった目的で支援を行ったかを伝えてくれるのでとてもわかりやすい。	・支援後のフィードバック時にお子さまの成長を共有しており、保護者さまと同じ方向性をもって支援を行えるようにして参ります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1	1		面談以外でも毎回のフィードバック時に相談すると親身になって聞いてくださる。こちらが家族支援をお願いすることが多いので都度助言等の支援が行われている。定期的に面談をしていただけるので、話を聞いてくださるのでありがたいです。	・お子さまやご家族の皆さまの状況に応じて面談及び家族支援等で定期的に面談ができるよう努めて参ります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2			共感的に支援をして下さるので、いつも前向きになれる。こちらが話しても気持ちを理解した上で支援してくれる。困った時にいつもアドバイスをいただけて助かっています。	・保護者の皆さまのお気持ちに寄り添っていけるよう努めて参ります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	6	10	今のところそのような機会はないが、特に必要性も感じない。保護者同士の交流等の機会はないように思う。	・家族支援の中で、きょうだい児の相談等はお受けしております。保護者同士の交流会の時間は、限られた支援時間の中で設けていくことが難しく、検討しております。	
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1			3	何かあったら声掛けて下さるし、掲示もされているので周知しやすいと思う。対応の体制は整備されていると思う。	・当事業所では、日常的な連絡や面談の機会を通して、子どもや保護者の皆さまが相談しやすい環境づくりに努めるとともに、相談窓口や対応方法についての周知・説明を行なってまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25					常に意見や相談がしやすい環境が整っていると思う。子どもが指示にすぐに応じなくても別の方法で応じてくれるように配慮してくれる。	・当事業所では、こどもの発達段階や理解の特性、保護者のじょうきょうに応じて、言葉かけや説明方法を工夫し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15				10	インスタで教室の様子を発信して下さっているのですが情報を把握することができない。ホームページやSNS等は見ていないのでわからないが新しい事業所ができることに対する情報は少なかった。	・定期的な通信の発行やホームページ・SNSの更新頻度を高め、日々活動の様子や行事予定、連絡体制に関する情報がよりわかりやすく伝わるよう改善します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1			2	インスタに掲載する際は必ず確認して顔を隠してくれたり配慮がある。特に問題ないと思う。	・個人情報に関する取扱いルールや管理体制について、定期的な確認や職員研修を行ない、情報漏えいや不適切な取り扱いを防止するための意識向上に努めてます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2		3	入所の際に説明され、定期的に訓練も入るので安心できる。十分に周知・説明があったのかわからないが訓練は実施された。	・訓練の実施状況についても、実施時期や内容、想定した事例などを共有し、事業所として安全対策への取り組みが伝わるよう努めて参ります。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	2		3	授業内で適切な訓練が行われていると感じる。定期的にやっているか特に連絡がないのでわからないが訓練は実施された。	・避難訓練等の実施時期や内容について、事前・事後に通信やお手紙等を通じてお知らせし、定期的に訓練が行われていることが分かるよう改善を図ります。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2			2	常に安全に配慮されていると思う。安全の確保はされていると思うが計画の周知がされているのかはわからない。	・日々の安全管理に加え、どのような点で安全対策を行なっているのかを具体的に伝えることで、事業所の取り組みがより見える形となるよう努めて参ります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1			2	小さなケガでもしっかり伝達して下さるので安心できる。事故等が発生したことがないのでわからない。	・小さな怪我やヒヤリとする場面についても丁寧な情報共有を継続し、こどもの様子や対応内容を分かりやすくお伝えしてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25					子どもの素が出せる。安心できる場所になっている。毎回行くのが楽しみでどの先生でも興味を持って課題に取り組んでいる。	・こどもの「楽しい」「やってみよう」と言う気持ちを大切にしながら、安心感の中で新しいことにも挑戦できるように、活動内容や支援方法を工夫していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25					毎回「早く行きたい!」というくらい、楽しく通っている様子が見れて嬉しい。今日は何をやるのかなと期待感を持っている。今では、ほとんど嫌がることなく楽しく通っています。	・こども一人ひとりの興味や得意なことを支援に生かしながら、無理なく挑戦できる課題設定を行い、達成感や自信につながる支援を続けて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2				いつも寄り添った支援をして下さり、子どもの成長を見て満足している。本人支援・家族支援を丁寧に対応して下さるので満足している。	・こどもの小さな変化や成長を丁寧に捉え、支援内容に反映するとともに、分かりやすい形で保護者にお伝えし、共に成長を喜び合える関係づくりを大切にしていきたいです。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	くものいえ				公表日	2026 年 1月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・発達支援室の広さや構造を踏まえ、こどもが安全かつ落ち着いて活動できる人数となるよう利用定員を設定している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員配置数は限られているが、利用定員やこどもの状態を踏まえて、支援に支障が出ないように工夫している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・生活空間は、必要以上に掲示物や装飾を控え、視覚的な刺激を少なくすることで、こどもが落ち着いて過ごせる環境としている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃および定期的な消毒を徹底し、清潔で衛生的な生活空間を維持している。 ・換気や室温・湿度管理を行い、こどもが快適に過ごせる環境づくりに努めている。 ・静と動の活動切り替えやすいよう、落ち着いて過ごせるスペースを分けている。	定期的な環境点検や職員間での意見交換を行い、活動内容に応じた空間構成や快適性の向上を図り、こどもが安心して過ごせる環境整備に努めていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンや個別対応が必要な時に使用できるように危険な物は置いていない。 ・こどもの気持ちや状態に応じて、個別の部屋や落ち着けるスペースを使用できる環境を整えている。 ・情緒が不安定なときや刺激に疲れた際には、安心して過ごせる静かな場所へ移動できるよう配慮している。 個別対応が必要な支援や課題に取り組む際には、周囲の刺激を抑えた環境を活用している。 ・使用時には、必ず職員が見守りや状況把握を行い、安全面に十分配慮している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・業務改善に関する課題や意見を、職員会議やミーティング等で共有し、全職員が意見を出しやすい体制を整えている。 ・PDCAサイクルを意識した振り返りを定期的に行い、改善点を次の支援や業務に反映している。 ・日々のヒヤリハット、気づきを職員間で共有し、業務改善につなげている。	・業務改善の目的や進捗を職員会議や共有資料等で分かりやすく可視化すること。 ・PDCAサイクルの各段階において、職員が意見を出しやすい場や仕組みを設けること。 ・改善内容や成果を定期的にフィードバックし、職員一人ひとりが参画している実感を持てるようにすること。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・報連相を徹底するように声掛けを行う。 ・評価結果や自由記載欄の意見については、職員間で共有・検討し、業務改善や支援内容の見直しに活かしている。 ・改善が必要と判断した事項については、具体的な対応策を検討し、可能な範囲で実践している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日々の支援の振り返りやヒヤリハット、業務上の課題について、職員間で共有し業務改善につなげている。 ・出された意見については検討を行い、可能なものから業務手順や支援方法の見直しを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・評価結果や指摘事項については職員間で共有し、改善につなげている。 ・改善状況については振り返りを行い、継続的な質の向上に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・経験年数や職種に応じて、必要な研修を受講できるよう配慮している。 ・研修参加後は、内容を職員間で共有する機会を設け、支援の質の向上につなげている。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録をたどり、途切れないようにつながる支援に努めている。</li> <li>・ 事業所の支援方針や目的に基づき、こどもの発達段階や特性に配慮した支援プログラムを作成している。</li> <li>・ 支援プログラムについては、保護者に分かりやすい表現を心がけ、書面やホームページ等で公表している。</li> </ul>	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども本人の様子や気持ちを丁寧に把握するとともに、保護者から聞き取りを通してニーズや課題を整理している。</li> <li>・ 支援計画書は定期的に見直しを行い、成長や状況の変化に応じて柔軟に修正している。</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員での共有を作成前に行うことは出来ていませんがプログラム作成に取り入れている。</li> <li>児童発達支援計画の作成にあたっては児童発達支援管理責任者だけでなく、子供の支援に関わる職員が共通理解のもと、こどもの最善の利益を考慮した検討を行っている。</li> </ul>	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成した児童発達支援計画については、職員会議やミーティングを通して職員間で共有している。</li> <li>・ 支援目標や支援内容を職員が共通理解できるよう、要点を整理して確認をしている。</li> <li>・ 必要に応じて職員間で情報共有や相談を行い、支援の方向性にずれが生じないように努めている。</li> </ul>	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々で頂いている発達検査等の記録を普段の支援を合わせて確認するようにしている。</li> <li>・ 把握した内容をもとに、支援方法や環境設定の見直しを行い、支援計画に反映している。</li> </ul>	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員個々での理解にとどまらないように、共有し具体的な支援が行えるようにしている。</li> <li>・ 児童発達支援ガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「地域支援・地域連携」の各視点を踏まえて、児童発達支援計画書を作成している。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短い時間でも話し合いの時間を作っている。</li> <li>・ 職員それぞれの視点や経験を活かし、多角的な意見を取り入れている。</li> <li>・ 継続的に見直しを行い、支援の向上のつなげている。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動プログラムが固定化しないよう、こどもの発達段階や興味・関心、当日の様子に応じて内容を見直ししている。</li> <li>・ 季節や行事を取り入れるなど、変化のある活動内容を意識している。</li> <li>・ こどもの成長や変化に応じて、支援の幅を広げられるよう取り組んでいる。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別活動では一人ひとりの課題やベースに合わせた支援を行い、集団活動では社会性やコミュニケーションの育ちを促している。</li> <li>・ 支援計画の内容は職員間で共有し、計画に沿った支援が行えるよう連携している。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもの体調や情緒面の変化、注意点についても事前に共有し、安全で一貫した支援につなげている。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記録もあるため必要事項のみ共有している。</li> <li>・ 支援終了後、次の日の朝礼で職員間で共有を行い、その日に行われた支援内容やこどもの様子について振り返り行っている。</li> </ul>	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が途切れないように記録の内容に配慮している。</li> <li>・日々の支援について、こどもの様子や支援内容を記録することを徹底している。</li> <li>・記録の書き方について共通理解を図り、客観的な記載を心がけている。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にモニタリングを行い、こどもの発達状況や支援の実施状況を確認している。</li> <li>・計画の見直し内容については職員間で共有し、支援の継続性と一貫性を確保している。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管と支援員が入るようにしている。</li> <li>・日頃から支援に関わっている職員や児童発達支援管理責任者が参画し、こどもの様子や支援の経過を具体的に伝えられている。</li> <li>・会議で得られた情報や意見については、職員間で共有し、支援内容や支援計画書の見直しに活かしている。</li> <li>・連携を通じて、こどもにとってより良い支援環境づくりにつなげている。</li> </ul>	会議内容を職員間で共有し、支援に反映させることで、関係機関との連携をより一層強化していく必要がある。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて関係機関と情報共有や連絡調整を行い、支援内容の一貫性図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園等、連携先の理念等もあり難しさもありますが訪問を行っている</li> <li>・お子さんに関しては情報共有を行っている。</li> <li>・必要に応じて、保育所、幼稚園と情報共有を行い支援内容や関わり方について相互理解を図っている。</li> </ul>	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学後の生活を見据え、こどもが安心して新しい環境に移行できるよう支援している。</li> <li>・就学移行に向け、関係機関との情報共有や連携体制の構築に取り組んでいる。</li> </ul>	現時点では就学に移行に関する経験がなく、小学校や特別支援学校との情報共有の実績はないことが課題である。今後は、就学を迎えることが出てきた際に円滑な移行支援が行えるよう、あらかじめ情報共有の方法や情報共有の方法や連携体制を整理し、関係機関との連絡・相談の機会を確保していく必要がある。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	支援に悩むケースや専門的な判断が必要な場合には、外部の視点を取り入れ、支援の質の向上につなげられるよう外部の連絡先等を職員間で共有している。	定期的な相談機会や確保や、助言内容の共有を行い、事業所全体で支援の質向上につなげていく。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団での活動を通して、順番を待つ、他者を意識する、簡単なやり取りを経験できる場面を設定する。</li> </ul>	こどもの発達段階や安全に配慮しつつ、地域とのつながりを意識した交流の機会について検討していく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援後のフィードバックを行い、こどもの様子や成長、課題について具体的に伝えることで、保護者との共通理解を図っている。</li> <li>・できたことや成長の変化だけではなく、現在つまづいている点や今後の支援の方向性をあわせて共有し、同じ目標をもって支援できるようにしている。</li> <li>・保護者の思いや家庭での様子を丁寧に聞き取り、家庭と事業所が連携した一貫性のある支援につなげている。</li> </ul>		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・ 家族の対応力向上を目的として、ペアレントトレーニングを実施し、こどもの特性や発達段階に応じた関わり方を具体的に伝えている。	家族の状況やニーズに応じた支援内容の工夫を行い、より実践的な支援の充実を図っていく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・ 契約時には、支援プログラムや利用者負担について、必ず時間を設けて丁寧に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・ 児童発達支援計画作成時には、面談等を通してこどもや保護者の希望を確認し、こどもの最善の利益を優先して計画に反映する工夫をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	・ 児童発達支援計画を示しながら支援内容を丁寧に説明し、保護者の理解と納得を確認したうえで、必ず同意を得るよう工夫している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・ 定期的に相談の機会を設け、ご家族の希望に応じて面談や助言等の家族支援を行い、安心して相談できる体制づくりを工夫している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	・ 父母会や保護者会等として開催は行っていないが、個別支援の中で他家族の工夫例を伝えるなど、保護者が孤立しないよう配慮した支援を行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・ 申し入れがあった際はスケジュールを調整し、速やかに行うよう努めている。 ・ 相談の申し入れがあった際には、内容に応じて速やかに面談や聞き取りの機会を設け、迅速な対応を心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・ 写真や短い文章を用いて、保護者が活動内容をイメージしやすいよう工夫している。 ・ こどもの様子が伝わる一方で、個人情報やプライバシーに十分に配慮した発信を心がけている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・ 訪問時に持参する報告書等、必要最低限にして気を付けている。 ・ 個人情報の取扱いについて、職員全体で共通理解を持ち、適切な管理を徹底している。 ・ 書類や記録は、施錠管理や保管場所を限定するなど、第三者の目に触れないよう配慮している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・ 障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達にあたっては、特性や理解度に配慮し、わかりやすいことばや伝え方を工夫している。 ・ 保護者の状況や気持ちを丁寧に受け止め、相談しやすい雰囲気づくりを大切にしている。 ・ 書面にしてお渡しする、保護者へ繰り返しお伝えする等の配慮を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・ 個人情報保護や個別支援を重視しているため、地域住民を事業所に招く取り組みは行っていないが、地域での情報提供を通じて、地域との関わりを意識した運営を工夫している。	地域とのつながりを大切にした運営を行っているが、今後も交流の機会や関係づくりについて検討を重ねていく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・ 事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルを整備し、職員がいつでも確認できるように周知している。 ・ マニュアルに基づき、発生を想定した訓練を定期的の実施し、緊急時の対応を職員間で確認している。 ・ 定期的に行い、同じテーマでも場面や状況を変えて行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・ 業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生を想定した避難訓練を定期的の実施している。 ・ 職員間で役割分担や避難経路を事前に確認し、緊急時にも落ち着いて行動できる体制づくりを心がけている。	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始時や必要に応じて、服薬状況や予防接種、てんかん発作等のこどもの健康状態について事前に確認している。</li> <li>・利用開始後、早い段階で確認と記載して頂いていて個人ファイルで確認している。</li> </ul>	こどもの健康状態について事前にい確認しているが、引き続き情報共有や確認体制の充実に努めていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始時等に、食物アレルギーの有無についてアンケートで確認を行っている。</li> <li>・活動内容により飲食が想定される場合には、事前に保護者へ確認を行い、必要な配慮を徹底している。</li> <li>・食べ物を扱うことはありませんが、アセスメントシートに記入して頂き教材によっては配慮している。</li> </ul>	適切な対応を行っているが、引き続き安全に配慮した体制作りに努めていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故やヒヤリハット事例については職員間で共有し、再発防止に向けた検討や改善につなげている。</li> <li>・日々の支援の中でも、こどもの特性や活動内容に応じたリスク確認を行い、安全に配慮した支援を行っている。</li> </ul>	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画に基づく取り組み内容について、日々のやり取りの通じて家族等へ周知し、連携を図る工夫をしている。</li> <li>・避難訓練の際にご説明を具体的にお伝えしている。</li> </ul>	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットは必ず記録に残し、職員間で情報を共有することで、同様の事象が起こらないよう意識している。</li> <li>・日々共有して軽微事故のファイルを作成して記録している。</li> </ul>	
	52	虐待を防止するため職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が虐待防止研修を受講するとともに、研修内容の共有や事例検討を通じて、具体的な対応力こうじょうにつながる工夫をしている。</li> </ul>	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援計画書に身体拘束に関する内容を記載し、保護者に分かりやすく説明して同意を得るとともに、拘束は最終手段であることを周知する工夫をしている。</li> </ul>	